



「収入・生活費」についてです。「病気をきっかけに仕事をやめたので収入がない」「借金を繰り返している」「携帯電話料金が高額で生活費が足りない」など、毎日の生活費に困っている方からの相談が多いです。次に「仕事」。長い間仕事に就いておらず、就職できるの自信がない方でも職場体験をはじめ、さまざまな就労訓練を受けていただけます。最近では「年齢が高くなかなか就職先が見つからない」「年金だけでは暮らせない」ので仕事がありました。などの相談も多くあります。

自立相談支援センターの相談支援員・前田恭子さんに聞きました！

—相談内容でいちばん多いものは何ですか？
「収入・生活費」についてです。「病気をきっかけに仕事をやめたので収入がない」「借金を繰り返している」「携帯電話料金が高額で生活費が足りない」など、毎日の生活費に困っている方からの相談が多いです。次に「仕事」。長い間仕事に就いておらず、就職できるの自信がない方でも職場体験をはじめ、さまざまな就労訓練を受けていただけます。最近では「年齢が高くなかなか就職先が見つからない」「年金だけでは暮らせない」ので仕事がありました。などの相談も多くあります。

—相談者がどうなることが最終的な目標だと思っていますか？
「自立」することです。「経済的自立」だけでなく、自分の健康、生活管理を行うことができるようになる「日常生活での自立」

—相談、支援を行う「自立相談支援センター」と働く準備を行う委託事業の「かけはし」が同じ事務所になり、より便利で包括的な切れ目のない支援が行えるようになりました。

また、お金の使い方・管理の仕方について一緒に考える家計改善支援事業を新たに開始しました。



社会的な孤立状態を解消する「社会的自立」の場合もあり、人それぞれ、状況に合わせたゴールを決めています。

—最後にひとことお願いします
いま生活に困っている方は、複数の課題をお持ちの場合が多いです。それを一つずつ聞き、絡み合った糸をほぐすように解決していくのが私たちの役目です。今つらくて困っている方、将来に不安のある方等もぜひご相談ください。そして、近くに困っている方がいらしたら、自立相談支援センターを案内してください。

ひきこもり 経験者、Aさん(20代)の場合

5年間の引きこもりを経て、再度スランプに陥るも就職



炎天下に初めてスコップを手にして、公園で生コン練りの就労訓練をしましたね。Aさんが汗をかき、筋肉痛になり「つらい」と言いながらも、笑顔を見せていたことを覚えています。建築の仕事に興味を持ち、CADの資格を取得しました。私はAさんが施工した公園に行くたびに、あなたの汗を思い出しています。



支援員Cさんのひとこと

多重債務 のあったBさん(50代)の場合

ギャンブル依存症を克服し、就労継続中



支援員Dさんのひとこと

最初は自信をなくしていたBさん。仕事を見つけ、病院での治療や依存症の当事者会への参加など、一步一步着実に生活の立て直しに向けて歩み続ける姿を見て、私自身、人生はやり直せるんだ、人は変えられるんだと勇気をもらいました。これからもBさんの夢が実現できるよう応援していきます。

すべての人に健康と福祉を 「断らない支援」で 心身の健康と自立を目指す



農家での就労訓練の様子。自立相談支援センターでは職場体験や就労訓練の場も募集中心のこと。いろいろな形で支援し、「すべての人に健康と福祉を」のゴール達成を目指しています。

人に助けを求めると…。これは決して恥すべきことではないのですが、自分に悩みがあるとき、他人にSOSを発するのはなかなか難しいことかもしれません。自立相談支援センターは市民の皆さんが一人でも多く健やかに、生きていくことを応援する施設です。まさに「すべての人に健康と福祉を」の気持ちで活動しています。だから、勇気をもってセンターのドアをたたいてみてください。複雑に絡み合っている問題を解きほぐし、自立までの道を一緒に歩いていきます。



持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals = SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。今月は、P4～6で「一人ひとりのSDGs」と題し、SDGsの特集をしています。ぜひ、ご覧ください。

宮崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています